

学校関係者評価結果対応書

令和5年2月22日

尾道市立高西中学校

| 項目 | 課題 | 対応・改善策等 |
|---------------------------------|--|--|
| 授業改善の カリマネの 推進 | <p>○生徒の抱える困難さ等、実態把握を丁寧に行い、「個別最適な学び」の実現に努める必要がある。</p> <p>○思考ツールの使用など、全体として共通意識をもつことが不十分だった。</p> <p>○表現活動の場をさらに増やすことや、表現方法の工夫について、教員が共通意識を持ち、指導を継続・徹底していく必要がある。</p> | <p>○自ら選択したり、自分なりの考えをもったりすることのできる課題設定と、その手立てを行うことを共通認識として取り組んでいく。</p> <p>○思考ツールを題材にして使用法を学んだり検討したりする研修を行う。</p> <p>○生徒に対して思考ツールの使い方を学習させ、活用できるようにする授業を設定する。</p> <p>○表現力を育成するための活動を焦点化し、話し合い活動の仕方や、根拠・理由・結論に着目した表現方法について、生徒への指導を行う。</p> |
| 特別活動 (集団づくり) のカリマネの 推進 | <p>○「いきナビ」等では、生徒が自立的に自己実現するきっかけ作りができたが、生徒が「なりたい自分」に近づくための支援やアドバイスを丁寧に行っていく必要がある。</p> <p>○「新しい発想や価値」を出し合うという点については、まだまだ不十分である。 「新しい発想や価値」を生み出すための話し合い技法の習得、豊かな発想が受け入れられる学級の風土づくりにこれからも努めていく必要がある。</p> | <p>○自己実現力の向上について、今年度実施した取組をさらにブラッシュアップする。また、キャリアノートやキャリア・ログについては小中で取り組む「志プロジェクト」においても取組を進めているので、今後も小中連携を充実させて取り組んでいく。</p> <p>○生徒と共に創る生徒会活動と学校行事について一定の成果を得ることができたが、教員発信であることが多いので、執行部を中心に生徒の声を反映させ、自治的な取組がより活発になるよう取組を進めていく。</p> |
| 働き方改革の カリマネの 推進 | <p>○「学校における働き方改革アンケート」における「新たな取組を行う場合、スクラップアンドビルドを行っている」の質問項目への肯定的な割合が48%と低い。</p> | <p>○生徒と向き合う時間を生み出すために、教職員一人一人が知恵を出し合い、様々な目標の実現に向けてさらにチームで協力する教職員集団を目指して、①「風通しのよい職場づくり」、②「スクラップ&ビルド、目標の重点化・焦点化」、③「行事等の精選」により積極的に取り組む。</p> |